

## 日本新生児成育医学会 2021年度 第4回理事会 議事録

日 時：2021年8月2日（月）17：00～19：20

開催方法：Web会議システム zoom を利用

出席者：早川昌弘，諫山哲哉，大曾根義輝，河井昌彦，河野由美，日下 隆，高橋尚人，長 和俊，中西秀彦，長谷川久弥，飛弾麻里子，廣間武彦，福原里恵，水野克己，細野茂春，森岡一朗，和田和子，和田雅樹，芳本誠司（各理事）中村友彦，与田仁志（各監事）東海林宏道，北東 功，松本 敦（各幹事）

欠席者：茨 聡（理事）

（敬称略）

議 事：

### 1. 理事長報告

#### 1) 年会費請求の件

2021年度会費は全会員2,672名中、名誉・功労会員133名を除く2,539名のうち、延べ1,848名（73%）（7月27日現在）より納入され、代議員費を合わせて24,501,000円の会費納入となった。

#### 2) 次回理事会・社員総会の件

第5回理事会は2021年11月15日（月）10：00～12：00、2021年度社員総会は12月13日（月）16：00～18：00に行う予定である。

#### 3) 通信理事会議決結果報告の件

議決を取ったものは7件、そのほかのお知らせ等は11件であった。

#### 4) 2021年度会計途中経過報告の件

10～6月末までの会計の状況が報告された。収入は、会費・代議員費が予算より少ないため、9月末まで積極的に催促する。セミナー参加費については11月に開催することとなったので今期は未計上となる。論文掲載料は昨年より少ない見込みである。支出は、現時点でほとんどの科目が予定より減額となっている。

#### 5) 第68回（2024年秋）日本新生児成育医学会学術集会会長の件

立候補を9月30日まで受け付けている。

#### 6) 第1回ウェビナー開催の件

2021年7月26日（月）18：00～19：00に開催した。事前参加申し込み者は320名で、当日の参加者は最大で140名と半数以上少なくなった。アンケート結果での満足度は非常に高かったが、当日参加されなかった方にも見ていただけるよう動画とテキストを会員専用ページに掲載予定である。

#### 7) 非医師入会の件

1名の新規入会があった。

#### 8) 4th Joint Congress の件

台湾新生児学会より2022年3月19日（土）・20日（日）に台湾の台中で開催予定である旨連絡があった。

#### 9) 理事長職務報告

通信理事会の発信、趣意書の作成、ロクロニウムの対応、ウェビナーの開催指揮等を行った。

### 2. 協議事項

#### 第1号議案：2022年9月期予算および事業計画書の件（早川理事長・和田和子理事）

来期は学術集会がないため、例年より収入・支出ともに少ない予算となっている。予算案に計上されていないウェビナーの費用と、アンケート調査費を計上することについて提案があったため、通信理事会で改めて承認を得ることとなった。事業計画書については出席理事19名のうち17名から承認された。

#### 第2号議案：第65回学術集会会計の件（長 会長）

完全 web 開催となり、企業の協賛が少なくなったが、招待者の交通費や宿泊費は支出不要となった。また、参加者も増えたため、収入 39,805,719 円、支出 31,983,727 円、収支差額は 7,821,992 円となった。法人税・消費税を一般会計に繰り入れ、余剰金の 1/2 にあたる 3,334,096 円が学会補助金会計へ納入されることとなる。また、5,000,000 円の補助金も返納される。残り 1/2 余剰金についてはシロアムの園へ 2,000,000 円、北大病院周産母子センターへ 1,334,096 円を寄付する。以上が出席理事 19 名のうち 18 名から承認された。

第 3 号議案：抗 RS ウイルスモノクローナル抗体製剤の使用に関する要望書（森岡理事）

通信理事会 No9 にて要望書を厚生労働省へ提出することが承認され、日本小児呼吸器学会、日本小児感染症学会に最終案を確認いただいたところ、日本小児感染症学会からは賛同いただけなかった。については現在賛同を得られている日本小児呼吸器学会に加えて、日本小児循環器学会へも打診し連名とした上で、厚生労働省へ提出する。また、日本小児科学会へは要望書を提出する旨の報告を行うことが出席理事 18 名から承認された。

第 4 号議案：寄付募集の件（早川理事長）

修正された寄付募集に関する趣意書が資料として供覧され、各企業に担当の先生方から働きかけを依頼することで出席理事 18 名から承認された。

第 5 号議案：学会公式ツイッターアカウント作成の件（水野理事）

広報委員会で学会の公式アカウントと広報室アカウントを 1 つずつ作成し、今後学会が行う事業等について発信していきたいとの提案があった。トラブルを防ぐため、発信内容は広報委員会全員で確認の上行うこととする。出席理事のうち 18 名から承認された。学術集会については、学術集會事務局で別途アカウントを取得し、リンクさせながら広報することとなった。

第 6 号議案：学会ホームページリニューアルの件（水野理事）

学会ホームページをどんなデバイスからでも見やすいレスポンシブルデザインにリニューアルするにあたり、1,500,000 円でメディカ出版に委託することで出席理事 18 名から承認された。一般の方向けのページに力を入れることについて提案があった。デザインについては別途発注となるため、参考になるような良いページ案があれば教えていただきたいと呼びかけられた。

3. 第 65 回学術集会報告の件（長会長）

2021 年 5 月 7 日（金）～ 9 日（日）に web 配信にて開催となった。有料参加者 1,159 名、無料参加者は 461 名、合計で 1,620 名の参加となった。視聴数は専門医の単位が取得できる講演が多い結果となった。

新生児看護学会との合同招請講演で「アフリカの大地で障がい児と向き合う ―障がい児とご家族が笑顔でいられる社会を目指して」と題して講演された公文和子先生が寄付を募集しているため、協力をお願いしたいと呼びかけられた。

4. 第 66 回学術集会の件（長谷川会長）

2022 年 11 月 24 日（木）～ 26 日（土）にパシフィコ横浜にてハイブリッド開催を予定している。企業展示等は申し込みがなく難渋している。来年は来場していただけるよう準備を進める予定である。

5. 各種委員会報告

1) 社会保険委員会（和田委員長）

1. 令和 4 年度診療報酬改定提案項目 出生前ハイリスク新生児カウンセリング加算について厚労省ヒアリングが 7 月 27 日に予定されていたが、前日に書類提出のみに変更となる旨連絡があった。
2. 内保連総会が 6 月 29 日に web 開催された。

〈令和 4 年度基本方針〉

- (1) 一般病棟用「重症度、医療・看護必要度」に D 項目の追加
- (2) 内科系治療の基本である薬物療法における処方技術の評価：「注射処方料」
- (3) 「説明と同意」を評価し、指導管理料を拡大し、「意思決定支援管理料」を新設

- (4) 医療安全の推進（血液採取料、消化器軟性内視鏡安全管理料）
  - (5) 標準的手順が省かれ医療費を高騰させている生体検査の見直し
  - (6) チーム医療の推進と医師負担の軽減
  - (7) 医療連携と在宅医療の推進
  - (8) 妊娠・周産期・小児医療の重視（資料2枚目）
  - (9) 遠隔医療の推進
  - (10) AI（人工知能）診療・診断の推進
  - (11) 国民に役立つ医療技術の導入・強化（令和4年度内保連医療技術提案）
3. 内保連医療技術負荷度委員会
- 医療負荷度調査（新生児も中堅クラスの医師に調査協力依頼を行った）を実施した。結果は注射薬が複数になる場合は負荷度が高いため、保険点数を上げるよう要望を行って行く予定である。
  - 注射処方料の算定に関して以下の項目を提案中（令和4年度において）
    - (1) 入院中の患者に対し、注射薬の投与開始日及び追加投与（種類の異なる注射薬に限る）が行われた初日に算定する。
    - (2) 当該日の注射薬の種類数が6種類以上の場合は、1処方につき50点を、11種類以上の場合は1処方につき160点を加算する。
    - (3) 当該日の注射の薬剤および特定保険医療材料を合算した点数が10,000点以上である場合は、1処方につき60点を加算する。
4. 「標準的医療説明 ～インフォームド・コンセントの最前線～」
- 概要：2019年に発刊した『標準的医療説明の手順書』の最新版  
 委託先：医学書院  
 発行：2021年8月末予定
- 2) 学会将来構想委員会（高橋委員長）
1. 6月4日（金）に第1回委員会を開催し、新生児医療連絡会と共同で行った新生児医療提供体制・新生児医勤務状況の全国調査について、今後どのようにこの状況を訴えていったら良いか議論した。現在、その結果に合わせて一つずつ対応している。
  2. 6月24日（木）の第2回英文誌WG委員会の結果を受けて、今後、委員会で英文誌を含めた学会の将来構想の全体像を検討する予定である。9月くらいに第2回の委員会を開催予定である。
  3. 「日本新生児成育医学会 認定新生児成育フォローアップ医（仮称）制度」について、7月3日（土）に第1回ワーキンググループ会議を開催し、この制度を構築すべき、ということで意見が一致した。9月にweb会議を開催する予定である。
  4. 第65回学術集会アンケート結果がまとまった。視聴した方からの報告はおおむね好評であった。またweb開催になったことから、普段学会に参加できない方からは貴重な機会であったという意見が多かった。
- 3) 調査研究審査委員会（高橋委員長）  
 特になし
- 4) 産科医療補償制度対応委員会（細野委員長）  
 特になし
- 5) 診療委員会（芳本委員長）  
 特になし
- 6) 災害対策委員会（茨委員長）  
 特になし
- 7) 男女共同参画推進委員会（河野委員長）

特になし

8) 広報委員会（水野委員長）

学術集会が終わってから訪問者数が減り、色々と情報を掲載していきたいと考えている。また、セミナーや学会・研究会なども引き続き掲載していきたい。

9) 医療安全委員会（大曾根委員長）

第2回理事会にて報告していた通り公益財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所より「医療機関における生命維持管理装置等の研修及び保守点検の指針」の「閉鎖式保育器」についてのレビュー依頼があった件で、7月8日（木）付で先方から指針が完成した連絡があった。

10) 倫理委員会（福原委員長）

特になし

11) 感染対策予防接種委員会（森岡委員長）

1. 「早産児への抗菌薬使用方針ならびに各施設の多剤耐性菌感染対策のアンケート調査」は、通信理事会の承認を得て、現在実施している。
2. 「NICUにおけるロタウイルスワクチンの定期化への対応に関するアンケート」は、現在、基幹施設（日本大学）での倫理審査中である。倫理委員会承認後、通信理事会に諮る予定である。
3. 日本小児呼吸器学会と連携し小児RSウイルス呼吸器感染症ガイドライン2021を作成し、先日発刊に至った。
4. 本学会から公表している「新型コロナウイルス感染症に対する出生後早期の新生児への対応について」の改訂を検討している。

12) 薬事委員会（飛弾委員長）

特になし

13) 教育委員会（中西委員長）

1. 第7回 医学生・研修医向けNICU入門セミナーについて  
2021年8月28日（土）web開催13:00～18:00（予定）  
参加予定者は80名で、内訳は医学生18名、後期研修医33名、初期研修医24名、大学院生1名、その他4名となっている。2021年8月3日（火）18:00～20:00に、教育委員会メンバー、講師依頼の先生方とwebでリハーサルを予定している。
2. 第24回教育セミナー（11月開催予定）について  
開催期間は2日間（第1日13:00～17:00、第2日9:00～14:00）、参加費は会員2,000円、非会員5,000円、定員80名まで受け付け可とする。内容については現在協議中だが、ライブ配信講義を2コマ（感染対策、災害について）少人数講義を5コマから1つを選択し、後日オンデマンド配信とする。また、グループワークも開催予定である。
3. 教育セミナー開催に関する来年度の予算について  
次年度の開催時期、開催方法、開催場所、開催期間、参加費については検討中である。

14) 医療の標準化委員会（諫山委員長）

新生児医療の科学的根拠に基づく診療ガイドライン作成メンバー募集について総勢180名を超える応募があり、まずは全員を採用して、ガイドライン作成を進めることにした。内訳は、新生児科医108名、小児科医33名、看護師18名、助産師3名、薬剤師3名、患者家族10名、医療工学技士2名、その他診療科医師3名となっている。

今後は、全体として大きな方針を共有して、ガイドライン作成の方法を学びつつ、具体的なガイドライン制作に関しては、いくつかのグループ（CLDガイドライン、PDAガイドライン、痛みのガイドライン、患者家族グループ等）に分かれて、それぞれで活動を進めていく予定としている。

15) 医療の質向上委員会 (長委員長)

2021年7月28日現在、「新生児偽性低アルドステロン症」の登録が18件、「MIRAGE症候群およびMIRAGE症候群関連疾患」の登録が7件、「新型コロナウイルス感染症の母体から出生した児」の登録が30件あった。新生児血球貪食性リンパ組織球症および新生児ヘモクロマトーシス、先天性トキソプラズマ感染症、サイトメガロウイルス関連敗血症様症候群については調査が終了し、第65回学術集会の教育セミナーで各疾患の解説を行った。その後サーベイランスの登録が増えたので、講演を聞かれた方が登録されたと思われる。

16) 学会誌編集委員会 (河井委員長)

2021年度の投稿受付は14編で、うち9編が掲載不可となっていて採択率が悪い結果となっている。中には適応外の薬剤・治療法を倫理的配慮がなされずに使用されているものがあるため、会員への周知が必要と思われる。

17) 国際渉外委員会 (日下委員長)

特になし

18) 総務委員会 (和田委員長)

前回、留学中の方の会費免除について意見が出たが、関連学会にも免除している例はなく、webで学会誌の購読や学会参加ができることから特別な考慮は行わないこととなった。

19) 学術委員会 (長谷川委員長)

- 学会論文賞 伊藤誠人先生「アンケートから見た日本国内における新生児慢性肺疾患診断の現状」
- 学術奨励賞 玉井 圭先生「Associations of Birth Weight for Gestational Age with Child Health and Neurodevelopment among Term Infants : A Nationwide Japanese Population-Based Study」

20) 利益相反委員会 (廣間委員長)

特になし